

―撮影概要―

毎年、1月6日に演じられる「長滝の延年の舞」は鎌倉から室町時代にかけて、寺院社会において盛んに行われたが猿楽の能が発展する頃から延年の舞は徐々に衰え、わずか数ヶ所が残るのみとなった。その中で古い延年の形をまとまって今に伝えるのは「長滝の延年」と岩手県平泉町の「毛越寺」（もうつうじ）（共に国重要無形民俗文化財）の二つだけである。

撮影は2002年1月6日 岐阜県郡上市白鳥町長滝にある、長滝白山神社の境内で、ハイビジョンカメラによる撮影を、フリーのカメラマンである山本太郎が行った。

本件については、撮影者である山本太郎（甲）と特定非営利活動法人地域資料情報化コンソーシアム（乙）との間で、撮影業務委託についての契約書がかわされており、その第3条に「本著作物の著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む。）は、対価の完済により乙に移転する。」との規定があり、対価はすでに契約に従い支払い済みである。データの処理および保管等は、特定非営利活動法人地域資料情報化コンソーシアムから委託され、岐阜女子大学文化情報研究センターで行われており、学校教育や生涯学習の教材として利用している。